

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：子どもの食と栄養 英語表記：Child Food and Nutrition ナンバリング：2206		単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：波田野尚美 担当形態：単独
科目/系列	保育の対象の理解に関する科目/		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/子どもの食と栄養		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b> 1. 食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解できる。 2. 子どもの発達と食生活について理解し、乳児期から幼児期の栄養補給の特徴を説明できる。 3. 子どもの食生活の現状と課題を理解し、食育の意義、目的を考えることができる。			
<b>【授業の概要】</b> 子どもの発育・発達・健康増進のために必要な栄養学、正しい食生活のあり方、食事方法等についての基本的な知識を学習する。講義および実習から、食の大切さや食育の重要性を理解し、子どもの身体状況や栄養状態に応じた支援ができるような知識を身につける。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
<b>【授業計画】</b> 第1回：子どもの健康と食生活の意義 第2回：栄養に関する基本的知識① 五栄養素と3つの食品群 第3回：栄養に関する基本的知識② 炭水化物 たんぱく質 脂質 第4回：栄養に関する基本的知識③ ビタミン ミネラル 第5回：乳汁期の栄養 第6回：実習① (乳汁栄養) 第7回：離乳期の栄養 第8回：実習② (離乳食) 第9回：幼児期の栄養と食事① 栄養学的特徴と食生活 第10回：幼児期の栄養と食事② 食事支援 第11回：実習③ (幼児食) 第12回：食物アレルギーの基本的知識 第13回：実習④ (アレルギー対応食) 第14回：食育の基本と内容 第15回：家庭における食事と栄養 定期試験：筆記		<b>【授業時間外の学習】</b> ・授業計画に基づき、教科書の対応箇所を事前に読んでおく。授業後は、教科書や配布プリントを復習し、理解を深める。予習・復習には1時間程度の時間が必要である。  ・日々、子どもや食に関するニュースを把握し、自分で考える時間が20～30分程度必要である。	

<b>【授業の方法】</b> 講義、演習、グループワーク、実習。授業時間中に小テストを行う。 課題にコメントを入れてフィードバックを行う。	
<b>【テキスト】</b> 『イラスト 子どもの食と栄養』著者代表 森脇千夏 東京教学社	
<b>【参考書・参考資料等】</b> 適宜プリントを配布する	
<b>【学生に対する評価】</b> 定期試験の成績（50％）、課題・提出物（30％）、授業参画度（20％）。 ルーブリックを活用し総合的に評価する。	
<b>【履修上の注意】</b> ・実習では、身支度（エプロン・三角巾・マスク・名札）、布巾を各自用意する。 ・子どもや食に関するニュースに関心を持ち、理解を深めること。	
実務経験の有無：有	実務経験：元高等学校家庭科教諭
<b>【実務経験を生かした教育内容】</b> 家庭科の授業実践の経験を活かし、子どもの食の重要性について理解できるよう授業を行う。	